

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO. 21-10】 2022年3月31日発行

横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900 FAX045-212-5745

ロシアは侵略をやめろ！！ ウクライナから撤退しろ！！

2月24日に開始されたロシア軍によるウクライナ侵攻は、ウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章と国際法を踏みにじる暴挙です。世界各地で、「ロシアは侵略をやめろ」「ウクライナから撤退しろ」の声があがっています。侵略を止めさせるために、幅広い世論と運動でロシア・プーチン大統領を包囲することが求められています。

首相経験者や日本維新の会代表者は、ウクライナ侵略を口実に、日米同盟強化、軍事力強化や核兵器保有の必要性を声高に述べています。「力対力」の論理ではなく、唯一の戦争被爆国・平和憲法を持つ政府として、憲法9条の意義を世界に発信することと平和外交による解決を促進することが求められています。日本政府が核兵器禁止条約を直ちに批准するよう求めることも重要です。

神奈川では、3月2日に桜木町駅前で、飛び入りの人も参加して100人規模での抗議のスタンディングを行いました。その模様は日本テレビのニュースゼロ、TVKのニュースで放映されました。県内各地で、スタンディング、宣伝行動、デモなど連日行われています。3月24日の桜木町駅前スタンディング行動には80人が参加し、チラシ450枚配布、募金20,742円が集まりました。「ロシア軍は侵略をやめ、撤退しろ」の声をあげ、世界平和の実現に力を合わせましょう。ロシア大使館への抗議、ウクライナ大使館への激励と募金などの取り組みを呼びかけましょう。



東日本大震災11年。被災者支援の継続を！原発ゼロに！

揚妻幸男さん（県社保協事務局次長）の訴えが、
神奈川新聞（3月12日）の記事になりました。

福島出身者らが

「原発ゼロ」訴え

JR桜木町駅前

東日本大震災から11年を迎えた11日、福島県出身者らがJR桜木町駅前広場に集い、「震災や福島原発事故はまだ終わってはいない」などと道行く人々に訴えた。

福島県出身の揚妻幸男さ



「原発をゼロ」と訴える揚妻幸男さん

JR桜木町駅前広場

ん(70)は「原発は私たちに表面上の幸せを与えるかもしれないが、根本的な幸せは与えてくれない。未来の世代のために『原発ゼロ』を目指したい」と呼び掛けた。川崎市内の医療機関に長年勤めていたが、定年後は故郷に帰って親と暮らすつもりだった。定年目前で震災が起き、今も横浜市内に住む揚妻さんは「原発は家族や地域、職場までも引き裂き、人々を分断してしまつ」と声を大きくした。街宣活動は神奈川労連などが主催。参加者らは震災・原発事故を決して風化させてはならないと強調。ロシアがウクライナにある原発施設を攻撃、占拠したとの報道を踏まえ、「原発は有事の際には大きな脅威となる」と危機感を示した。

(平綿 裕一)

後期高齢者医療保険料、年間 1615 円引き下げを実現！！

3月28日に藤沢市で、後期高齢者医療神奈川県広域連合議会が開催されました。傍聴は、県社保協からの参加者など全体で15人ほどでした。広域連合議会は、3月と8月の2回開催され、議員定数は20人。今議会は、2022～2023年度の2年間の保険料が提案され議決されました。神奈川県の下期の保険料は、所得割率が8.74%から8.78%へ0.04%上がり、均等割額が43,800円から43,100円とマイナス700円。1人当たりの保険料は、94,637円で、前期比1,615円の引き下げとなります。全国で引き下げられたのは9道府県に過ぎないことから、神奈川県で引き下げが実現できたことは大きな成果です。

しかし引き下げの原資は、剰余金161億円のうち160億円をあて、剰余金は受診控えによる医療費の予算未達によるもので、極めて特異な要因でしかありません。1人当たりの保険料94,637円は、東京都に次いで全国で2番目の高さという水準のままです。

後期高齢者医療 神奈川県広域連合議会



75歳以上の医療費2割化反対実行委員会の2つの陳情、3議員が賛成！！

75歳以上の医療費2割化反対実行委員会として、「後期高齢者医療の窓口負担2割に引き上げる改正法の実施中止を求める意見書提出の陳情」と、「後期高齢者医療保険料の大幅な引き下げを求める陳情」を提出しました。

陳情は、議会運営委員会で審議し本会議に回されます。議会運営委員会では、広域連合事務局長が「令和4年に団塊の世代が75歳以上になり、全世代型社会保障制度の維持、現役世代の負担を軽減するためには、高齢者に可能な範囲で負担していただかなければならない」「10月実施に向けて、受診控え対策、重症化予防、月3000円以上の負担増を抑える対策など、広報・周知徹底などを早期に行うよう国に求める」ので、中止を求める意見書は出さなくていいとしました。自民党・無所属の議員から、陳情を不採択にとの意見がありましたが、長谷川えつこ議員（横浜市・立憲民主党）は、「2割化を実施すれば、受診控えが数多く発生することは政府も認めている。コロナ禍でもあり実施は中止すべき」と発言し、2つの陳情に賛成しました。しかし、議会運営委員会は、「不採択」多数とし本会議に提出しました。

本会議では、白井正子議員（横浜市・日本共産党）が、「神奈川県民医連の後期高齢者の調査では、1割負担から2割負担になったら『通院回数を減らす』、『受診科の数を減らす』、『薬の飲み方を自分で調整する』など、約3割の方が何らかの受診抑制を考えている。コロナ禍において、受診抑制による健康への影響の検証もなく、高齢者の必要な受診の機会を奪う2割化は中止することを強くのぞむとしている」。「保険料の負担割合は、被保険者1割、現役世代の支援金4割、公費5割と法定化されているが、現役並み所得の人の窓口負担を3割にしたことに伴い公費が47%程度まで減少し、被保険者の保険料と支援金の割合が増加して保険料負担率が11%台まで跳ね上がっている。後期高齢者から『生活が厳しくなっている』、『高齢者になっても安心して暮らせる制度にしてほしい』との声が寄せられている」と、2つの陳情の採択を求めました。

本会議の採択では、長谷川えつこ議員と白井正子議員、花上喜代志議員（横浜市・立憲民主党）が2つの陳情に賛成しました。不採択になったとは言え、3人の議員が陳情に賛成したのは、過去例がなく歴史的な画期と言えます。この間、75歳以上の医療費2割化中止の運動を大きくすすめ、立憲民主党、日本共産党、社会民主党の12名の地元国会議員に署名の紹介議員になっていただきました。そうした運動の広がりが結実していると確信できます。

神奈川県広域連合議会の議員定数は20人で、2021年度は、横浜市7人、川崎市3人、横須賀市1人、相模原市1人、残り8人はブロック分けで選出（2021年度は逗子市・三浦市・伊勢原市・南足柄市・座間市・綾瀬市・真鶴町・愛川町）。会派別では、横浜市が自民2、立憲2、公明2、共産1。川崎市が自民1、みらい1、公明1。横須賀市、相模原市、ブロック選出は、議会の議長か副議長で、自民4、公明2、保守系会派1、無所属3。1年で改選し、ほぼ全員入れ替わります。

「75歳以上医療費2倍化中止署名」41,807筆を国会提出！！

「75歳以上の医療費窓口負担2割化中止署名」の紹介議員には、右表のように12人の国会議員が引き受けていただきました。これまでに集約された署名41,807筆を、紹介議員を通じて国会に提出しました。

署名の内訳は、民医連6893、新婦人11433、神生連187、横浜市従退職者会12、神奈川労連141、年金者組合2948、建設労連9975、自交総連10、福保労118、ユーコープ労組2948、横浜市社保協1491、相模原市社保協750、その他98。さらに、実行委員会メンバーでない公団自治協から4907筆寄せていただきました。

75歳以上の医療費2割化の実施は、10月1日からで、それまで署名を推進します。5月26日に、国会で署名提出行動（いのち署名、介護署名を含めて）が予定されています。7月の参議院選挙での争点化をめざし、5月26日の行動での署名提出をすすめます。紹介議員を広げていく取り組みも推進します。

宣伝物として、保団連作成の宣伝・署名ハガキ付きポケットティッシュ（右図）を、保険医協会を通じて各地域社保協にお送りしました。宣伝・署名行動での活用をお願いします。

署名提出の紹介議員一覧（敬称略）

<衆議院議員>

篠原 豪（神奈川1区）	立憲民主党
早稲田夕季（神奈川4区）	立憲民主党
笠 浩史（神奈川9区）	立憲民主党
阿部 知子（神奈川12区）	立憲民主党
青柳陽一郎（比例南関東）	立憲民主党
中谷 一馬（比例南関東）	立憲民主党
山崎 誠（比例南関東）	立憲民主党
志位 和夫（比例南関東）	日本共産党

<参議院議員>

真山 勇一（神奈川選挙区）	立憲民主党
小池 晃（比例）	日本共産党
田村 智子（比例）	日本共産党
福島みずほ（比例）	社会民主党



3.23 神奈川国会行動 59 人参加!!

3月23日、「軍事費削って、暮らし、福祉と教育にまわせ」神奈川県大運動実行委員会は、衆議院議員会館で集会を行いました。神奈川の国会行動は1月に実施し、2月はコロナ禍で中止しました。今回の国会行動は、10団体59人が参加し、地元国会議員への要請を行いました。75歳以上医療費窓口負担2倍化中止の国会請願署名2491筆提出しました。

集会には、立民、共産、社民の各党議員に国会情勢の報告をお願いし、共産・田村智子参議院議員が駆けつけていただきました。

田村議員は、国会審議の状況やウクライナ情勢に触れつつ、戦争は国際秩序を乱し、病院や原発と民間人への攻撃は非法行為。核兵器による威嚇は核兵器禁止条約に反する蛮行と厳しく批判。国際ルールに反する行為に乗じて、維新の会は軍事費をGDP比2%へ拡大、敵基地攻撃の強化、アメリカの核兵器の共有を主張、自民党は非核三原則の見直しに言及したことを、憲法に背く発言で「国会議員を続ける資格はない」。コロナ禍やウクライナ危機で暮らしや営業が困窮し、物価高騰の中で、「消費税を5%に引下げることが何よりの経済対策」。安倍首相や自公政権は減税で賃金引上げと8年間も言い続けたが全く効果なく、大企業の内部留保と富裕層を拡大しただけ、内部留保に課税して社会への還元が求められていると不公正税制の解消とともに国会で議論を促進すると述べました。

各団体の運動交流では、「民主的税制を求める街頭宣伝を続けている。仕事と生活の実態を国会議員に訴える（建設労連）」、「ロシアを攻撃せよ、9条は昭和の遺物に対して平和を求める世論づくりが必要（原水協）」、「急激な物価高騰で見積時の単価のまま仕事をすると赤字（神商連）」、「保健所などの公衆衛生職場は限界を越えている。月200時間以上残業している。それでも国民のいのちが守れない（自治労連）」、「年金引下げは現役・青年労働者と高齢者の問題。年金裁判の支援を（年金者組合）」、「いつでも、どこでも生活改善と平和を守るデモを各支部で取り組み、改憲反対署名で対話促進している（新婦人）」、「ケア労働者の賃金は全労働者賃金より8万円低い、政府の9千円の賃上げ交付金では足りない。3月10日には保育園でストライキ実施（福祉保育労）」と報告があり、参議院選挙で改憲勢力を減らし憲法を守りいかす政治に転換しようと閉会し、地元議員国会49人に要請しました。

神奈川国会行動の予定は4月20日、5月18日、6月8日となります。（神奈川労連情報より転載）



『消費税は社会保障のためって本当？』

消費税ネット学習会

【講師】 佐久大学人間福祉学部特任教授

唐鎌 直義 氏

「日本は高齢化社会に向かうため、社会保障にあてる」という理由で、1989年に消費税は導入されました。その後も「社会保障の安定化と充実のために用いる」からと、5%、8%そして10%に消費税率はアップしてきました。しかし、医療制度や年金、介護保険など社会保障は充実するどころか、むしろ後退しています。

消費税は社会保障のためって本当なんでしょうか？そして社会保障を充実するには、もっと消費税率を上げないといけないのでしょうか？

私たちの暮らしに直結するこのテーマについて、ご専門の唐鎌先生にお話しをうかがいます。ぜひご参加ください。



参加登録はこちらから

4月16日（土）17時～18時30分

①建設プラザかながわ ②Web配信

神奈川県社保協ホームページからも申込できます。

<https://kanagawa-shahokyou.jp>



＜4月の主な行動・会議日程＞

- 4月1日（金）税と社会保障一体改革反対全県一斉宣伝行動（この日を中心に）
県社保協第10回常幹 14:00 建設プラザ会議室+（ZOOM）
- 4月5日（火）消費税ネット世話人・事務局会議 18:30 保険医協会会議室+（ZOOM）
- 4月6日（水）中央社保協介護障碍部会・運営委員会 10:30 医療労働会館+（ZOOM）
- 4月8日（金）県社保協第10回幹事会 14:00 保険医協会会議室+（ZOOM）
- 4月10日（日）映画「グレタ」上映 10:30 14:30 18:30 横須賀芸術劇場小劇場
- 4月11日（月）県社保協医療保険改善委員会 10:00 神商連会館3F 会議室+（ZOOM）
- 4月12日（火）全県一斉宣伝行動・西湘地域キャラバン① 9:00 建設プラザ出発
- 4月13日（水）全県一斉宣伝行動・西湘地域キャラバン② 9:00 建設プラザ出発
- 4月14日（木）国民大運動実行委員会事務局団体会議 9:00 平和と労働会館4F 会議室
- 4月16日（土）消費税ネット学習会 17:00 建設プラザ2F ホール+オンライン視聴
- 4月17日（日）茅ヶ崎社保協総会 13:00 茅ヶ崎民商会議室
介護集会「介護を崩壊させない！」 13:00 オンライン集会
- 4月18日（月）消費税廃止各界連運営委員会 13:00 神商連会館3F 会議室+（ZOOM）
県社保協介護保険改善委員会 15:30（ZOOM 会議）
- 4月20日（水）神奈川国会行動 10:00 国会議員会館（会場未定）
神奈川生存権裁判口頭弁論 11:30 横浜地裁（10:30～地裁前集会）
神奈川生存権裁判決起集会 13:30 神商連会館4F 会議室
建設アスぺと神奈川訴訟「最高裁勝利報告交流会」 15:00 ロイヤルホールヨコハマ
- 4月21日（木）ケア労働者の組織化に向けた相談会 16:00 平労会館7F+（ZOOM）
- 4月22日（金）75歳以上医療費2倍化中止を求める国会要請行動 12:00 国会議員会館（会場未定）
- 4月24日（日）神奈川県民医連第48回定期総会 9:30（ZOOMによるWeb開催）
- 4月25日（月）消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
県民要求連絡会事務局団体会議 15:00 神奈川県職労連会議室
- 4月28日（木）神奈川高齢期運動連会総会 14:00 年金者組合会議室
- 5月1日（日）第93回メーデー（県・横浜） 10:00 沢渡公園（県内6ヶ所予定）
- 5月3日（火）5.3県民のつどい（憲法集会・神奈川） 13:00 神奈川公会堂
2022 憲法大集会（憲法集会・中央） 12:30 有明防災公園